

2025 年度 授業コード: 22117600

授業科目	ソーシャルワーク実習指導 A						実務家教員担当科目	○			
単位	2	履修	選択	開講年次	3		開講時期	通年			
担当教員	今村 浩司／梶原 浩介										
授業概要	本講では、ソーシャルワーク実習の意義について理解ができるよう、精神障害者のおかれている現状およびその生活の実態や生活上の困難について解説する。本学独自の実習生向けの実習指導マニュアルを使用し、集団指導及び個別指導を通して、精神科医療機関での相談援助の経験を有する実務家教員が、実習に必要な知識や技術の確認及び習得ができるように具体的な場面設定の中で、学生自身が考える授業を展開する。 実習指導 A では、精神科病院や精神科クリニック等の医療機関を中心として実習指導を実施する。また、より具体的現実性を高めるため、外部講師を招聘する予定である。 なお、授業の運営方法については、対面講義が困難な場合等は、ウェブ等を使用しての講義等に変更して実施することもある										
授業形態	対面授業				授業方法	グループワーク					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. ソーシャルワーク実習の意義や精神障害者の置かれている現状及び、生活上の困難について説明できる。 2. 精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的、实际的に理解し実践的な技術等を体得でき、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に説明できる。										
理想的レベル	1. ソーシャルワーク実習の意義や精神障害者の置かれている現状及び、生活上の困難について、理解したうえで説明できる。。 2. 精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的、实际的に理解し実践的な技術等を体得でき、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に、理解したうえで対応できる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験											
小テスト											
レポート			20								
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他			80				講義中の発言・質問・参加姿勢等				
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE21311J
学習課題（予習・復習）										1 回の目安時間（時間）	
毎時間、課題を指示										4	
授業計画											

第1回	ソーシャルワーク実習とソーシャルワーク実習指導における個別指導及び集団指導の意義
第2回	精神保健医療福祉の現状に関する基本的理解
第3回	利用者理解
第4回	実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する基本的理解 (外部講師)
第5回	実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する基本的理解 (外部講師)
第6回	現場体験学習及び見学実習
第7回	実習先で必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術に関する理解
第8回	精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務に関する理解
第9回	実習における個人のプライバシー保護と守秘義務の理解(個人情報保護法の理解)
第10回	「実習日誌」への記録内容及び記録方法に関する理解
第11回	実習生、実習担当教員、実習先の指導者との三者協議を踏まえた実習計画の作成
第12回	巡回指導(訪問指導、スーパービジョン)
第13回	実習日誌や実習体験を踏まえた課題の整理
第14回	実習総括レポートの作成 実習を踏まえてのグループワーク
第15回	実習の評価全体総括会
テキスト	「ソーシャルワーク実習指導(精神専門)」中央法規出版(最新版)及び、本学で作成した「ソーシャルワーク実習マニュアル」「実習日誌」等を使用して、授業を進めていきます。
参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の 紹介	必要に応じて、適宜紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	授業貢献度 課題レポートにて評価します。 その他については、具体的な実践場面を想定した実技指導(ロールプレイ等)やグループワークの内容、積極性や参加意欲も併せて評価します。
学生へのメッセージ・コメント	3年次の「ソーシャルワーク実習A」、4年次の「ソーシャルワーク実習B」を履修する学生のみが履修できます。 演習や実習の授業と関連して、実習指導は進めていきます。その他関連科目の理解も深めて、実習指導に臨んでください。